

復興まちづくりに資する地域資源を活かした新機能建材の開発【持続可能】

研究開発期間（令和８～９年度）

〔担当者〕水上 点晴

本研究では、被災した能登および佐賀関で産する、珪藻土および海藻を用いた新建材の開発を行い、耐火性を始めとした各種性能や、地産材料の混入割合等トレーサビリティに関する技術資料を作成し、復興を担う住宅メーカー等が材料を選定する際の基準となるデータを公表する。